

第7分科会

学校・家庭・地域社会の連携

研究課題 家庭・地域社会との連携により教育機能を高める学校づくり

趣 旨

学校はもとより家庭や地域社会が、教育の場として十分機能を発揮することなしに子どもたちの健やかな成長はあり得ない。

しかし、近年の度重なる青少年の凶悪犯罪やいじめ、不登校など、子どもをめぐる様々な問題が発生している。こうした問題の背景に、家庭における過保護・過干渉、子育てに対する自信喪失、地域社会における連帯感や地縁的なつながりの希薄化などによりその教育力の低下が指摘されている。

未来ある子どもたちは、地域社会の中で地域の良さを生かしながら伸び伸びと育てられなければならない。大切なことは、子どもたちが地域の中で自ら伸びようとする意欲をもち、夢に向かってチャレンジできること、そして、これを大人が支えていくことである。そのためにも学校・家庭・地域社会が連携し、それぞれの教育力を融合することが求められている。

そこで、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を担い、それらを結集できる環境づくりや課題解決に向けた取組みをより一層推進していくとともに、家庭や地域社会の教育力を向上させるための取組みを実施することが必要である。

家庭教育充実のための「早寝・早起き・朝ごはん」の取組みや、地域全体で子どもを育てる「放課後子どもプラン」事業などが推進されているが、学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能を高めていき、子どもたちを健やかに育てていくための連携の在り方を明らかにする。

研究の視点

1 学校教育の理解を深める家庭・地域社会との連携の推進

充実した学校教育の実現には、教育の出発点である家庭やそれを支える地域社会がそれぞれの役割を認識しつつ、連携し、協力することが不可欠である。そのためには保護者や地域住民の学校教育への理解を深めるとともに、学校運営に参画を促し、地域の期待や要望を的確に反映した特色ある学校づくりを進めるなどして、家庭や地域社会との連携を目指さなければならない。学校・家庭・地域社会における様々な教育機能が連携・融合して、子どもの成長を担うことが求められている。

家庭・地域社会との連携の推進に果たす校長の役割や在り方を究明する。

2 家庭・地域社会の教育力の充実

家庭は、家族との愛情に満ちあふれたふれあいを通して、心身の健康をはぐくみ、基本的な生活習慣、他人に対する思いやり、倫理観、自制心や自立心などを育成する上で重要な役割を担っている。

また、地域社会は家庭教育と子どもの「生きる力」をはぐくむ上で重要な体験の場であり、自然体験やスポーツ、遊びなど、異年齢の人々とのかかわりの中で、自主性、創造性、社会性を身に付けていくことができる。心豊かでたくましい子どもを育てるために、家庭・地域社会の教育力を学校教育活動に生かす環境づくりが求められている。

家庭・地域社会の教育力を充実するための学校の在り方と校長の役割について究明する。